



《見てくる犬》

h23×12×21cm / プリキ、ペンキ / 2026

佐藤一明 展「見てくる犬」

- ・会期：2026年11月3日（火）～11月15日（日）*11月10日（火）休み
- ・時間：13:00~19:00 *最終日18:00迄
- ・H-art Beat Gallery | 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F

この度、H-art Beat Galleryでは、佐藤一明展「見てくる犬」を開催いたします。

佐藤一明は1970年北海道岩見沢市生まれ。北海道教育大学札幌分校特別教養（美術・工芸）教員養成課程、同大学大学院を経て、筑波大学大学院芸術研究科造形コースにて先端的総合表現を修了。現在は北海道内にアトリエを構え、精力的に制作を行っています。

約2年前の初冬、2024年12月。山口県宇部市で開催された「第30回UBEビエンナーレ」を訪れた際のことです。1961年に始まり、長い歴史を持つこの野外彫刻展の会場、ときわ公園に並ぶ数々の作品の中で、ひととき目を引く作品に出会いました。それが、佐藤一明の《見てくる犬》でした。

高さ2.55メートルにも及ぶ犬が、眼下に広がる常盤湖と、その先の遠くをじっと見つめている。その姿に、私はすっかり魅入られてしまったのです。

シンプルな線と色だけで構成されたこの作品は、ひと目見ただけで、その造形の完成度の高さが伝わってきました。動物や生き物をモチーフとした彫刻は数多くありますが、これほど大きな作品でありながら、立体としてのバランスに破綻がない。そして、動物への深い愛情と、どこかユーモラスな佇まいが、作品全体に安らぎをもたらしています。何より、この作品には、ひと目で「佐藤一明の作品だ」と感じさせる、確かな独自性がありました。

この度、弊ギャラリーでは初となる佐藤一明の個展を開催いたします。最新作を中心に、彫刻作品11点、絵画作品8点をご紹介します。ぜひこの機会にご高覧いただけますよう、皆様のご来廊を心よりお待ちしております。

略歴：

1970年 北海道岩見沢市生まれ

北海道教育大学札幌分校特別教養(美術・工芸)教員養成課程、及び同大学大学院で学んだ後、
筑波大学大学院芸術研究科造形コースにて先端的総合表現を追究する。

2008年 第9回大分アジア彫刻展 優秀賞/朝倉文夫記念館（大分県豊後大野市）

2014年 第12回大分アジア彫刻展 優秀賞/朝倉文夫記念館（大分県豊後大野市）

2015年 個展「暮らしのメモ」(To ov cafe /札幌)

2017年 さっぽろ雪像彫刻展 参加 (本郷新記念札幌彫刻美術館) '18, '19, '20, '23

2019年 個展「犬とスキーとストーブ」(ギャラリー犬養/札幌)

2020年 個展「見てくる犬」展 (To ov café/札幌)

2021年 個展「見てくる犬」展 (gallery sato/札幌)

2022年 個展「森の匠展 佐藤一明」(森の美術館「木夢」/紋別郡西興部村)
New Eyes視線のはなし (本郷新記念札幌彫刻美術館)

2023年 第30回UBEビエンナーレ (現代日本彫刻展) 実物制作指定作品選出

2024年 第30回UBEビエンナーレ 島根県吉賀町賞、市民賞受賞

個展「見てくる犬」 (GALLERY創/札幌)

2026年 個展「見てくる犬」 (GALLERY創/札幌)

個展「見てくる犬」 (H-art Beat Gallery/東京)

主な収蔵先：

札幌芸術の森美術館 (札幌)、病院、個人邸、他多数

主な出品予定作品：



《見てくる犬》

h13×7×14.6cm / プリキ、ペンキ / 2026



《見てくる犬》

h32×12.5×12.5cm / プリキ、ペンキ / 2026



《見てくる犬》

h18×8.5×19.5cm / プリキ、ペンキ / 2026

H-art Beat Gallery

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F

2-38-10 Tako Bldg. 2F Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051 Japan

e-mail : gallery@hartbeat.co.jp URL: <https://hartbeat.co.jp> Director : 西山 勝 Masaru Nishiyama